

# 令和元年度屋久島世界遺産地域管理計画に基づく事業 及びモニタリング調査等計画

環境省九州地方環境事務所

(補足：【ID 番号】は、モニタリング調査等予定表の ID 番号)

## 1. 生態系と自然景観の保全関係

### (1) 調査・モニタリング

- ①気象データの測定 【ID1】
- ②特異な自然景観の資源資源の現況 【ID7】 (別紙 1)
- ③ヤクシカ生息状況 【ID9】
- ④ヤクシカ捕獲状況 【ID10】
- ⑤植生保護柵内外の植生調査等 【ID11】

### (2) ヤクシカの計画捕獲に向けた取組

- ①シャープシューティング体制による試験捕獲の実施
- ②保護区域内（西部地域含む）でのヤクシカ管理実施計画の検討
  - ・西部地域密度操作実験実施計画見直しの現地検討会実施
  - ・同計画策定

## 2. 自然の適正な利用関係

### (1) 調査・モニタリング

- ①登山者数 【ID19】
- ②携帯トイレ利用者数 【ID21】
- ③登山道の荒廃状況、植生変化状況 【ID24】

### (2) 山岳部における利用のあり方検討 ※議題 7 で報告

### (3) 施設整備

- ①永田岳線歩道（鹿之沢～永田岳～焼野三叉路）浸食防止対策 整備工事（継続）
- ②淀川登山口休憩舎 整備工事
- ③淀川登山口～平石岩屋区間の浸食防止対策 設計

## 3. 計画の実施その他の事項

### (1) 計画の見直しに向けた取組

- ①世界遺産管理及びモニタリングの現状及び課題の整理、改善点の検討等（別紙 2）

## 【モニタリング項目 ID7：特異な自然景観資源の現況】

## モニタリング調査についての整理

## 1. 見直し・整理内容

- (1) 調査箇所：島内全域 21 地点→18 地点  
 (2) 調査頻度：毎年→調査箇所によって 2 年に 1 回

調査箇所		調査頻度	調査箇所		調査頻度
1	高盤岳展望台	毎年	12	第二展望台	2年に1回
2	ビヤクシン岳展望台	毎年	13	翁岳	—
3	鹿之沢小屋	2年に1回	14	石塚山	—
4	石塚小屋直前岩場	2年に1回	15	七五岳	2年に1回
5	太忠岳	2年に1回	16	モッコヨム岳	2年に1回
6	愛子岳	2年に1回	17	神山展望台	毎年
7	新高塚小屋	毎年	18	太鼓岩	毎年
8	烏帽子岳	2年に1回	19	高盤岳	—
9	宮之浦岳山頂	毎年	20	黒味岳	毎年
10	大川の滝	毎年	21	尾之間	2年に1回
11	千尋の滝	毎年			

—：調査終了

## 2. 調査を終了する箇所と理由

- ・翁岳：山頂までの登山道（歩道）が公園計画に位置付けられていない。
- ・石塚山：同上。
- ・高盤岳：同上。定点から撮影できる景観は、黒味岳の定点撮影でカバーできる。

世界遺産管理及びモニタリングの現状及び課題の整理、改善点の検討について

九州地方環境事務所

1. 実施背景・目的

屋久島世界自然遺産地域登録以降、屋久島世界遺産地域連絡会議及び屋久島世界遺産地域科学委員会が設置され、平成 24 年に改定された屋久島世界遺産地域管理計画や平成 23 年に策定されたモニタリング計画に基づき、関係機関が緊密に連携・協力して科学的な知見に基づく順応的保全管理に努めている。しかし、管理計画等が策定されて間もなく 10 年を迎えることを受け、平成 30 年度の科学委員会において、これまでのモニタリング結果や社会環境の変化等を踏まえて見直しの検討を行う方針が出されたところである。

そのため、これまで各機関で実施してきた屋久島世界自然遺産地域での管理やモニタリングについて情報収集及び整理を行い、今後屋久島で行うべき保全管理、調査研究、長期モニタリングの検討を行うことにより屋久島世界遺産地域の順応的保全管理体制の構築に資するものとする。

2. 実施内容

□屋久島世界遺産地域管理及びモニタリングに関する情報収集、課題の整理

- ・関係機関、専門家への聞き取り及び文献調査により、屋久島世界遺産地域における管理やモニタリングについて現状・経緯、課題、対策等の情報を主に収集して整理する。
- ・課題については、その内容や達成度について整理するほか、IUCN 世界遺産アウトルック 2017 を参考情報として使用し、IUCN の評価内容と現状の対策の整理を行う。

□屋久島世界遺産地域管理及びモニタリングに関する改善案の検討

- ・上述の情報収集、課題の整理結果、及び本年度科学委員会の議論を踏まえ、改善案の検討、取りまとめを行う。

